

対象事業の変更の届出書

平成24年10月31日

吹田市長宛

住所 大阪府吹田市千里万博公園3番3号

氏名 スタジアム建設募金団体
代表理事 金森喜久男

〔法人にあっては、名称、代表者
氏名および主たる事務所の所在地〕

吹田市環境まちづくり影響評価条例第24条第1項の規定により、対象事業の内容の変更について、次のとおり届け出ます。

事業	名称	(仮称)吹田市立スタジアム建設事業	
	実施場所	吹田千里万博公園23番1 他2筆	
変更内容		別紙のとおり	
※受付年月日	平成24年10月31日		※受付印
※備考			

※印の欄は、記入しないでください。

I. 変更内容

1. 事業の規模

建物高さについて、「約 44m」を「約 42m」に変更した。

2. 土地利用及び施設計画

将来の土地利用区分ごとの面積、配置を一部変更した。また、施設の延床面積及び施設形状の一部を変更した。変更後の将来の土地利用計画は、表-1 及び図-1 に、スタジアムの概要は表-2 及び図-2 に示すとおりである。

提案書時点の面積から、「広場・通路・車路」が減少し、「緑地」及び「運動施設」が増加した。また、スタジアムの延床面積が減少した。

表-1 土地利用計画

土地利用区分	現 況		将 来		備 考
	面積(m ²)	比率(%)	面積(m ²)	比率(%)	
建築物等	3,000	3.3	29,700	33.0	
駐車場	20,500	22.8	0	0.0	建物内駐車場除く
広場・通路・車路	20,700	23.0	25,000	27.8	
緑地	35,200	39.1	23,700	26.3	グラウンド含む
運動施設	10,600	11.8	11,600	12.9	
計	90,000	100.0	90,000	100.0	

表-2 スタジアム概要

建築面積	約 28,000m ² (グラウンド部分除く)
延床面積	約 74,000m ²
建物高さ	地上 6 階 (最高高さ: 約 42m)
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
主な用途	グラウンド、観客席、飲食店、物販店舗、事務所等
駐車台数	約 200 台

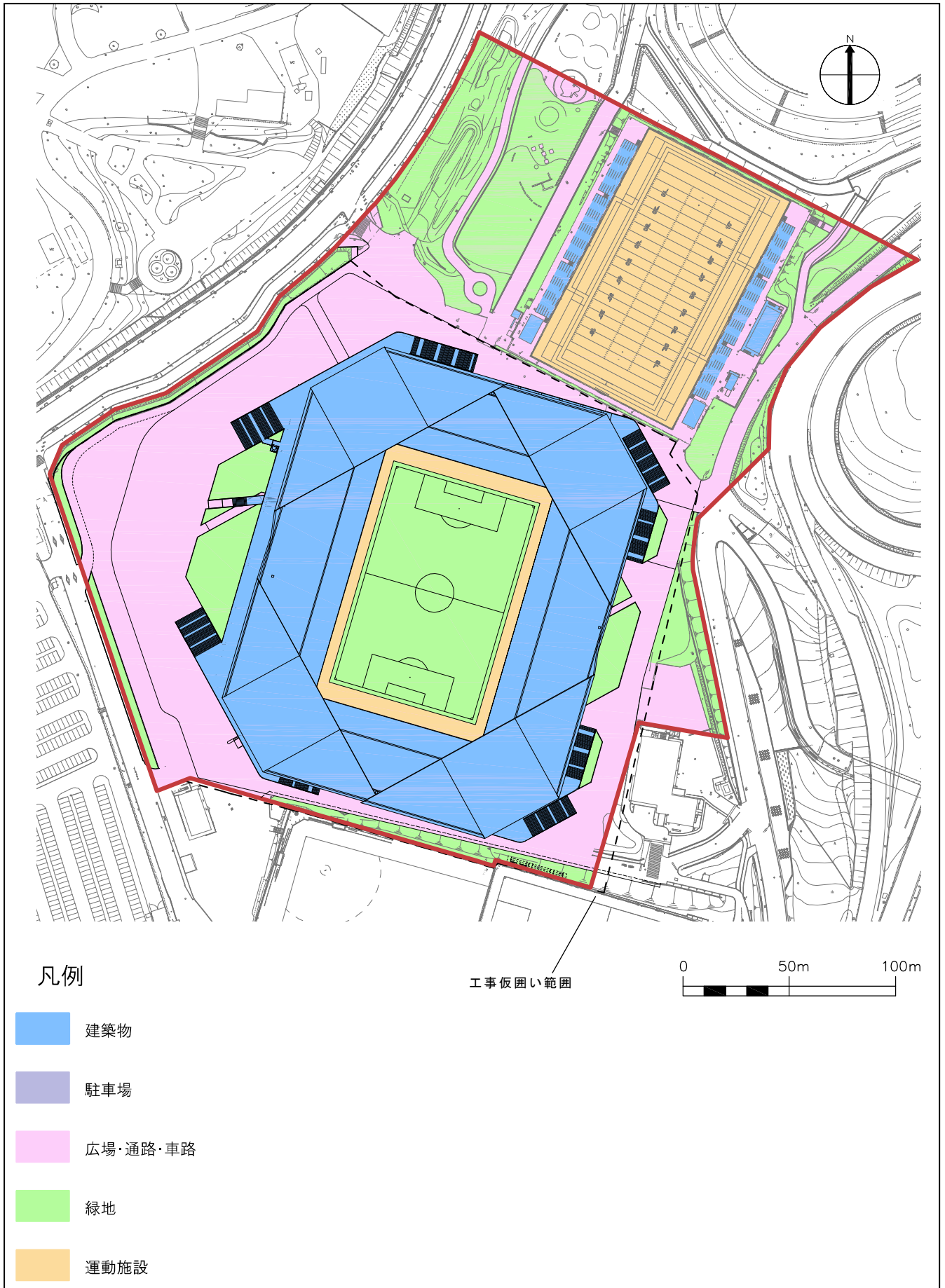
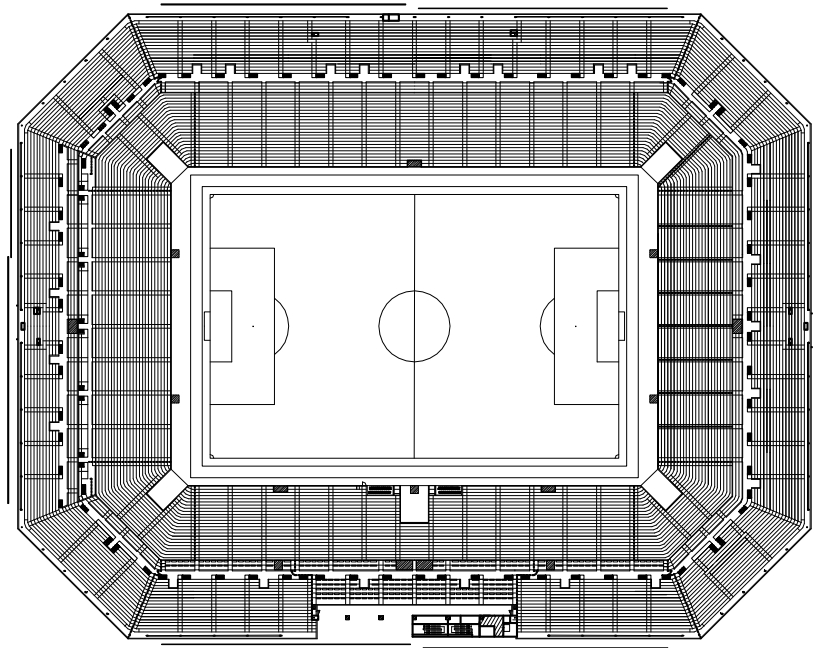


図-1 将来土地利用・施設配置計画図

平面図



立面図

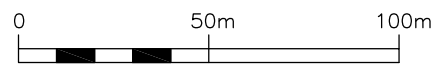
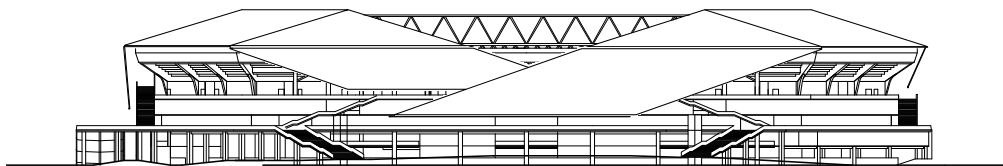


図-2 施設計画図

3. 施設稼働計画

年間主要試合開催数の内、国際試合等の開催数について、1 試合としていたが、今後の誘致方針を踏まえ、2 試合に変更した。年間の主要な試合開催数は表-3 に示すとおりである。

表-3 年間主要試合開催数

区分		開催数	備考
ガンバ大阪 主催試合	国内リーグ戦	17	原則土曜日開催
	国内カップ戦	2	原則水曜日開催
	海外カップ戦	7	原則水曜日開催
	ステップアップリーグ	7	原則土曜日・日曜日開催
その他	天皇杯	5	
	国際試合等	2	日本代表戦等を想定
計		40	

- 注：1. 現時点で想定される最大の試合数である。
 2. カップ戦の開催数については、すべて勝ち抜いた場合の最大数を示す。
 3. ステップアップリーグ（サテライト選手を中心とした育成リーグ）の試合開催数については流動的なため、変更になる可能性がある。
 4. 試合は原則として、土曜日・日曜日は昼間及び夜間、水曜日は夜間に開催する。なお、夜間については原則 21 時までには終了する。

4. 緑化計画

土地利用計画の変更に伴い、緑地面積を事業計画地の約 25% (23,000m²) から約 26% (23,700m²) に変更した。

5. 交通計画

交通計画については、周辺の道路交通への影響のさらなる低減のため、以下の通り変更した。

- ・万博公園への来場者が多く、周辺の道路が特に混雑する桜祭り等の時期については、ゲームの開催を極力回避し、また開催する場合はナイターとするなどの対策を講じる計画とした。
- ・自動車（自家用車等）の来場台数を 3,100 台と想定していたが、これを現状以下とする計画とし、そのため、観客用の駐車場はすべて予約制とし、来場台数を制限することとした。観客へのアンケート調査結果から、現在のゲーム開催時には、観客者が 20,000 人の場合、約 2,450 台の自家用車等が来場していると想定されることから、予約駐車場の台数は最大の場合で 2,000 台とし、万博公園の駐車場において確保する。交通計画、観客へのアンケート調査結果及びモノレールの輸送実績等に基づき想定した、試合開催日（観客数 40,500 人来場時）の交通手段別来場者数及び車両台数等の想定は表-4 に示すとおりである。
- ・観客数が多い場合、特に退場時（帰宅時）において、スタジアム周辺での快適・安全な通行を確保するため、交通整理員を配置することはもとより、スタジアムからの退場時間をコントロールし、順次退場するなどの対策についても検討・実施する計画とした。

表-4 交通手段別来場者数及び車両台数等想定

交通手段	人 数	備 考
自動車（自家用車等）	4,900	自動車台数 2,000 台
モノレール	16,400	
バス（路線バス・臨時バス）	11,900	バス台数 延べ約 200 台
バイク	1,800	
自転車	4,500	
徒歩	1,000	
計	40,500	

6. 工事計画

工事工程について再検討し、予定工期を 20 か月から 26 か月に変更した。工事工程は表-5 に示すとおりである。

表-5 工事工程表

作業	月																										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
準備工事	■	■	■	■																							
杭工事					■	■	■																				
基礎工事						■	■	■	■	■																	
観客席躯体工事									■	■	■	■	■	■	■	■											
鉄骨工事																	■	■	■	■	■	■					
屋根工事																			■	■	■	■					
仕上工事																							■	■	■	■	■
グラウンド工事等																										■	■

II. 変更理由

計画熟度の向上に伴い変更した。

ただし、交通計画については、審査書等を考慮し、周辺の道路交通への影響のさらなる低減にも配慮した。